

2024 年度技術見学会（庭窪浄水場）

1. 開催日時：2024 年 11 月 7 日（木） 10：00～16：00
2. 開催場所：大阪広域水道企業団 庭窪浄水場
3. 主 催：（一社）日本水道運営管理協会 技術委員会
4. 開催目的：

今回浄水場見学の技術見学会に至った経緯は、会員企業の若手技術者へのアンケート調査を行った際に、他浄水場やその維持管理手法について学びたいとの意見が多数あり、見学の対象者は水道施設の維持管理等に携わった経験が浅い者とした。

- ① 技術の改善・向上に関わる調査研究
- ② 高度浄水処理施設を有する大規模浄水場の最新技術の習得
- ③ 自身が実施している水道施設の維持管理手法等との違いなど知見を広める

5. 見学者：会員企業より 37 名が参加

6. 開催方法：

- ① 10:00 技術委員長の挨拶でスタート、庭窪浄水場の概要 DVD を机上で視聴



【開会挨拶をする 今坂委員長】



【大阪広域水道企業団様より概要説明】

- ② 10:30～15:00 2 班に分かれて、庭窪浄水場内を取水口や着水井から水の処理の流れに沿って見学を実施



【中央管理室の説明】



【屋上から淀川にある取水口の説明】



【沈砂池の説明】



【後ろ過施設の説明】

③ 15:00～16:00 各班、会議室に戻り質疑応答

参加者より10項目ほど質問をして、大阪広域水道企業団のご担当者様より丁寧に回答をいただいた。

(質問例) アンモニア除去、水質管理、実施体制と緊急時対応に関してなど

7. ご協力企業：大阪広域水道企業団様、株式会社大阪水道総合サービス様

月島ジェイテクノメンテサービス株式会社様

ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

8. 技術委員長 今坂俊之より総評：

以前は視察見学会を定期的には開催していましたが、近年はコロナ禍により開催ができずに約5年ぶりの開催となりました。今回見学させていただいた庭窪浄水場は、大阪広域水道企業団様の水道で最も歴史があり、取水から送水までの水量・水質・薬品制御・設備の運転状況等の監視や制御を、中央管理室で集中管理している大規模（高度浄水処理）な浄水場ですので、経験の浅い若手には初めてみる設備も多かったのではないのでしょうか。

質疑応答の際にはこちらの想定を上回る多くの質問があり、参加者の熱意を感じました。今回の見学で得た知識や感覚を、それぞれの職場に持ち帰っていただき、今後の業務に活かしていくことを期待しております。

以上

【新聞掲載記事】

2024年12月5日 5944号 4面掲載 (出典「日本水道新聞」)



今坂委員長

水管協 5年ぶりの技術見学 庭窪浄水場で開催

日本水道運営管理協会は11月7日、技術研修会の一環として2024年度技術見学会を大阪広域水道企業団の庭窪浄水場で開催した。水道施設の運営と管理に関する技術の改善・向上に関わる研究調査を目的とするもの。会員企業から水道施設維持管理等水道関連業務従事10年未満程度の社員が参加し、場内見学と直接質問を通じて知見を深めた。

開催に先立ち、あいさつに立った今坂俊之技術委員長は、新型コロナウイルス感染症の影響で5年ぶりの開催となったとした上で、「日本有数の企業団とその浄水場が行っている取組みを勉強し、持ち帰ってもらった上で業務に反映してもらいたい」と話した。


見学会は、DVD視聴で同浄水場の概要を学んだ後、2班に分かれて場内を視察。各設備の解説と合わせて浄水処理工程に沿って見て回った。通常の見学ルートでは公開していない南系（東棟）高度浄水処理棟のオゾン接触池や導入されている最新設備なども含めて、細かく場内を見学した。

見学後の質疑応答では、同浄水場を運転管理する同企業団、大阪水道総合サービス、月島ジェイテクノメンテサービスの職員がトラブル対応や生物処理、維持管理、DXなどに関する幅広い視点から寄せられた疑問に対して回答した。

電子版

5年ぶりの技術見学、庭窪浄水場で開催 水管協

2024/12/05 産業 業界団体



今坂委員長

日本水道運営管理協会は11月7日、技術研修会の一環として2024年度技術見学会を大阪広域水道企業団の庭窪浄水場で開催した。水道施設の運営と管理に関する技術の改善・向上に関わる研究調査を目的とするもの。会員企業から水道施設維持管理等水道関連業務従事10年未満程度の社員が参加し、場内見学と直接質問を通じて知見を深めた。

開催に先立ち、あいさつに立った今坂俊之技術委員長は、新型コロナウイルス感染症の影響で5年ぶりの開催となったとした上で、「日本有数の企業団とその浄水場が行っている取組みを勉強し、持ち帰ってもらった上で業務に反映してもらいたい」と話した。

見学会は、DVD視聴で同浄水場の概要を学んだ後、2班に分かれて場内を視察。各設備の解説と合わせて浄水処理工程に沿って見て回った。通常の見学ルートでは公開していない南系（東棟）高度浄水処理棟のオゾン接触池や導入されている最新設備なども含めて、細かく場内を見学した。

見学後の質疑応答では、同浄水場を運転管理する同企業団、大阪水道総合サービス、月島ジェイテクノメンテサービスの職員がトラブル対応や生物処理、維持管理、DXなどに関する幅広い視点から寄せられた疑問に対して回答した。

	<h3>若手が維持管理手法など知見広げる</h3> <h4>水管協 庭窪浄水場で技術見学会</h4> <p>日本水道運営管理協会は、このほど、大阪広域水道企業団の庭窪浄水場で技術見学会を行った。技術の改善・向上に関わる調査研究、高度浄水処理</p>
<p>操作室を見学する参加者</p> <p>同協会が行う水道施設の見学研究は、コロナ禍もあり5年ぶりとなる。今回は、若手技術者へのアンケート調査を行い、他の浄水場やその維持管理</p>	<p>施設を有する大規模浄水場の最新技術の習得、自身が実施している水道施設の維持管理手法等との違いなど知見を広げることが目的としている。</p> <p>大阪広域水道企業団、大阪水道総合サービス、同浄水場の維持管理を請け負っている月島ジェイテクノメンテサービスの担当者の案内のもと、場内を取水口や着水井から水の処理の流れに沿って見学した。場内見学後は質疑時間が設けられ、参加者からは、アンモニア除去や水質管理に関すること、実施体制と緊急時対応に関することなど活発な質問がなされた。</p>